

KOBEを愛して45年／月刊 神戸っ子

# KOBECCO

2006年10月1日発行 第49巻 第10号  
通巻541号 昭和40年11月20日 第三種郵便物許可

10 2006  
October  
vol.541

特集Ⅰ

錦秋の有馬を  
訪ねて

特集Ⅱ

神戸住まいズム [kobecco.co.jp](http://kobecco.co.jp)

これまで、これからも。



30年目の  
真珠婚

結婚30周年。その日、妻は“パールジェンヌ”になった。

真珠婚のお祝いにパールを贈る。  
凜とした美しさが、妻の笑顔をつつんでいた。



TASAKI

Tokyo Kobe New York Antwerp Hong Kong Beijing Shanghai Taipei ■ 0120-111-446 [www.tasaki.co.jp](http://www.tasaki.co.jp)

真珠婚 Jewellery (Akoya Pearl, Diamond) Necklace ¥1,000,000 Earrings ¥200,000



# Autumn

100th Anniversary Special Event  
Four Seasons



ANNIVERSARY  
100th  
*kamine*  
SINCE 1906 KOBE

*Zoccai* • Necklace ¥249,900~ • Ring ¥249,900~

## 2006.10 リニューアルオープン

クラブ&レストランとして1957年、開業当初から多くのセレブリティに愛されてきた年月。

「北野クラブ」は創業半世紀となる2007年のアニバーサリーイヤーの前に

新たにゲストハウス&レストランとして生まれ変わりました。

伝統あるフレンチの名店のシェフが奏でる、優しさにあふれた「ピオフレンチ」と

一流のソムリエが厳選する、自然派ワイン「ピオワイン」。

新進気鋭のクリエイター達と伝統と格式を引き継ぐ精鋭のスタッフ達が新しい歴史を生み出す。

ついに「KITANO CLUB」の「第2章」が開幕しました。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



KITANO CLUB (北野クラブ) ☎0120-51-2308 <http://www.kitanoclub.co.jp>

〒650-0002 神戸市中央区北野町1-5-7 Tel.078-222-5123 ■ 交通 / 新幹線・地下鉄新神戸駅より徒歩 約5分、JR・各線三宮駅より徒歩 約15分

■ 営業時間 / Restaurant : 5:30 pm ~ 10:30 pm (ラストオーダー) Bar : 5:30 pm ~ 1:30 am (ラストオーダー)



「第2章」がついに、幕を開けました。



# KITANO CLUB

R E S T A U R A N T



# Art View

— VOI · 17 —



花(2006)  
村井賢治

## 作家プロフィール



村井 賢治(むらい けんじ)

滋賀生まれ。幼い頃からものづくりに興味を持つ。電気工事や配管工事の仕事に就きさまざまな加工技術を会得、現場の端材を利用し創作を試みるように。2002年から照明づくりをはじめ、2006年より「key men」として本格的に活動を開始。銅を素材に表札など建築パーツからバックルのような小物まで、さまざまなアイテムを制作。2006年8月、波止場町TEN×TENでの神戸初の展覧会も好評だった。

Key-men  
滋賀県東近江市宮井町540-1  
TEL/0748-55-3530  
<http://www.key-men.net>  
(10月中オープン予定)

物語を紡ぐような物づくりだ。銅を焼き鈍しでしなやかに形づくる。溶接は部材自体を熔解させず、接着剤のような銀ろうで接合するろう付けという技法を用いる。接合の手順により融点の違う銀ろうを使用するので、工程は慎重な検討を要

## 一輪の光



する。配線からソケットの組み込みまで「電気を扱うので、安全が第一なのです」と慎重に制作のプロセスを打ちたてて細やかに手を動かす。

ハイライトの花の模様は、薄い銅板を慎重に溶かして抜く。作業中面を被り下書きは見えないから、図柄を何度もなぞって手で覚える。モチーフは野に咲く名もなき花。小さな生命の息吹が大きな光となり、空間をひそやかに幽玄へ誘う。

銅という素材は、人類が最も古くから使ってきた金属。時とともに緑青が染め、美はより深みを増す。古代中国、殷王朝時代の銅器も、幾千年の時を経て今なお美しい。末永く愛用できるよう、安全に配慮しPSEマークも取得。シンプルな造形美にどこか懐かしい風合いは、歳を重ねてなお心地よくなるだろう。

秋の夜長。虫の声と月明かりを友に、やさしいこの灯の下で、さあ、どんな物語を紐解こうか。



8 特集Ⅰ 錦秋の有馬を訪ねて

- 10 女将が迎える有馬のお宿
- 17 日帰り・宿泊 おすすめの宿
- 20 有馬歳時記
- 24 神戸ことはじめ



26 特集Ⅱ 神戸住まイズム

- 27 続 建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる。
- 34 住まいのFAQ
- 36 神戸エリア注目の住まい
- 42 芦屋山手を訪ねて
- 44 山芦屋の瀧邸プロジェクト
- 45 DIYをはじめよう
- 46 マンションは外断熱の時代へ



- 4 ART VIEW① / 花:村井賢治
- 7 FRONT ART / 石阪春生
- 48 村松友視KOBEを歩く<前編>
- 54 神戸のお嬢さん / 岡由実さん 松井彰子さん
- 56 <連載> 田中まこの神戸が撮っても好き! ⑩ 天使の卵
- 58 KOBECCO2006 / 勝川直樹さん 粟田恵美さん
- 60 対談 / 神戸国際会館開業50周年を語る 瀧川博司さん(株式会社神戸国際会館代表取締役社長) 玉岡かおるさん(作家)
- 64 第10回「花とみどりの回廊」まちづくり懇談会
- 68 神戸の「美味しさ」をお弁当につめ込んで
- 70 甲陽音楽学院
- 72 追悼・新谷瑛紀氏
- 73 もう味わえないあの味 コスモポリタン閉業
- 74 風さやか橋上で歌い踊る

- 76 ヘア&エステティック 尚美苑
- 78 智慧の盆踊り
- 80 安心できる食生活と心身の健康増進に向けて
- 82 ある集い / 九年母 神戸二紀女流作家展
- 84 でん太の教えてドクター
- 87 私の意見 / 町本欣信
- 88 富士アトラス国際交流コーナー
- 89 2006年10月の貴方by龍元の占い
- 90 ぴっといん「緑一」 「アズーリ」
- 92 エレガントナイト
- 94 TEN×TENクリエイターズ
- 95 トアロードクラフトアートフェア2006
- 97 神戸アートウォーク2006
- 100 イベントスケジュール
- 102 めざせJ1復帰! ヴィッセル神戸
- 103 スポーツカレンダー
- 104 ポケットジャーナル
- 106 コウベスナップ
- 108 <連載> 神戸ゆかりの源平浮世絵  
「平家終焉・壇ノ浦合戦…幼い安徳帝の入水」 中右瑛
- 110 <連載> 海船港 「エーゲ海・黒海沿岸クルーズ④」 上川庄二郎
- 112 <連載> プロフェッサーPの研究室 岡田淳
- 114 <連載> 震災エッセイ⑩ 文・大谷成章 剪画・とみさわかよの
- 116 <連載> コーヒーカップの耳⑧ 文・出石アカル 絵・菅原流人 題字・六車明峰
- 118 <連載> 神戸異人館物語 夜明けのハンター⑥ 文・三条杜夫 絵・谷口和市
- 124 法人会員ニュース
- 129 百店会だより
- 130 神戸っ子グルメ
- 146 Kitano Hot News
- 149 Present
- 150 編集後記
- 151 定期購読のご案内
- 152 Last Photograph⑧ / 中山岩太



# フロントアート

*The front art*



石阪春生「赤い布と女のいる風景」2005年



# 錦秋の 有馬を訪ねて

特集 I

六甲北麓の山々に抱かれた  
日本三古泉のひとつ有馬温泉

自然がつくりだす優美な光景に心を打たれる

錦秋の有馬

赤、黄、緑、色鮮やかに表情を変える

瑞宝寺公園の紅葉

清冽な流れをたたえる鼓が滝

太閤秀吉を偲ぶ大茶会……

歴史を駆けぬけた多くの偉人たちが愛した地

有馬の光景かもっとも華やぐ季節に

錦秋の有馬を訪れてみたい





## 第57回 豊公を偲ぶ 有馬大茶会のご案内

有馬温泉をこよなく愛した豊臣秀吉公の遺徳を偲んで、昭和25年より毎年開催されている「有馬大茶会」。今年は、表千家のご奉仕で、2日間にわたり行なわれる。

日時 11月2日(木)3日(金祝)

9時30分～15時30分

(受付終了)

茶席 有馬ランドホテル雅中庵  
瑞宝寺公園(野点席)

念仏寺

お茶券 前売 100000円

(献茶式・副席3ヶ所)

点心得

当日 110000円

■有馬温泉観光総合案内所

☎0789040708

## 有馬工房で 四季折々の展覧会



趣きのある作品が揃った絵手紙コンクール



青木進さんによる  
和紙細工の人形(上、右)



有馬温泉観光協会が主催し、

昨年からは行なわれている「四季の絵手紙コンクール」の審査結果が発表され、応募作品すべてが有馬工房に展示されている。

10月3日まで。コンクールは、春夏秋冬それぞれの部があり、今年の秋の部は11月末日締め切り(審査は来年夏に行なわれる)。有馬の思い出を描き、ぜ

ひび応募を。

また有馬工房では、随時、青木進さんの和紙人形展「わらべの園」が行なわれている(工房でのイベント時はお休み)。かつての子どもの情景が、風景や小道具など細かい部分まで丁寧に和紙で作られており、なつかしい風物詩に、心がなごむ。



「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える  
有馬温泉のお宿

あたたかさが迎えてくれる  
太閤ゆかりの宿

# 兵衛向陽閣

風早笙子さん



さくら色の着物がよく似合う  
女将・風早笙子さん。東京から  
有馬温泉に嫁いでこられてもう  
50年以上、休まずお客様を迎  
えてきた。まず女将に会いに来  
る常連さんも多い。女将のあた  
たかさは、そのままこの旅館の  
雰囲気となっている。

太閤秀吉が「兵衛」と名付け  
た歴史ある宿である。9月に、  
一の湯、二の湯に続き、新浴場  
「三の湯」がオープン。庭を眺  
めながらゆつくり湯に浸かるこ  
とができる大浴場と、金泉の露  
天風呂、家族で気兼ねなく楽し  
める貸切露天風呂、めずらしい  
木曾ひのき酵素浴コーナーなど、  
温泉浴が存分に楽しめる浴場だ。

■兵衛向陽閣

神戸市北区有馬町1904

☎078-904-0501

http://www.hyoe.co.jp





① 風情のある貸切露天風呂 ② 昔の湯治場を思わせる大浴場は、天井が高く開放感がある ③ 木曾ひのきを100%使用した「ひのき酵素浴」は身体の芯まで温まる

## 新浴場「三の湯」が誕生しました

貸切露天風呂(2部屋)  
11:00~22:30(最終受付)  
ひのき酵素浴「森の香り」  
11:00~22:00(最終受付)





「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える  
有馬温泉のお宿

有馬有数のスケールながらやすらぎのある空間

# 有馬 グランドホテル

梶木和子さん



いつもお客様でいっぱいロビーからのぞむ、美しい庭園に立つ梶木和子さん。有馬一の規模を誇るホテルの女将は、控えめながら、たおやかな印象。「お客様に喜んでいただけるのが一番、それだけです」と話す。

最上階フロアすべてを使った壮大なスケールの大浴苑は、有馬の街と山並みを一望する。大浴苑とお料理の日帰りプラン「奏句譜」をはじめ、宿泊のプランも充実している。11月2・3日の有馬大茶会では、敷地内にある「雅中庵」が副席に。



こぶしの花のシャンデリアが輝くロビー

■有馬グランドホテル  
神戸市北区有馬町1304-1  
☎07-8-90354889  
<http://www.arima-gh.jp/>



～女将が迎える  
有馬温泉のお宿

自然に抱かれた野趣あふれるお宿

# 月光園

## 鴻隴館 游月山荘

奥田宣子さん



欧州の古城を思わせる鴻隴館は、奥田真社長が「国際都市神戸で通用する旅館を」と、建築家・瀬戸本淳氏に申し出たのだとか。一方、游月山荘は、館内を流れる清流とともに、自然に抱かれた落ち着いた宿。「有馬にもこんな風景が残っているところがあるのかと、お客様に驚かれます」とは、女将・奥田宣子さん。明るい笑顔と気配りで、客に気を使わない。

昨年游月山荘に、健康と美容をテーマにしたBUFFエレストラン「月の座」がオープン。「これからは、豪華な会席料理だけでなく、身体に良いお料理と、温かいお風呂をご提供していきたい」という。



■月光園鴻隴館 游月山荘  
神戸市北区有馬町318  
鴻隴館 ☎078-90312255  
游月山荘 ☎078-9040366  
<http://www.gekkoen.co.jp>

「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える  
有馬温泉のお宿

さりげないおもてなしが  
嬉しい宿

# 角の坊

山野高子さん



平安時代、有馬に仁西上人が十二の宿坊を建設。その名残をのこす宿坊には、現在でも宿名に「坊」がつけられている。有馬温泉の伝統と格式を今に伝える角の坊。すぐ近くの御所、妬（うわなり） 泉源から引いてくる濃厚な金湯は大地の恵みの賜物。館内に生けられた栗、すすきは有馬に自生し、有馬の季節感でもてなす点は、女将・山野高子さんのなせる業。「食事は、ゆっくり味わっていたらこうと、全館お部屋で召し上がっていただいています」。さりげないおもてなしが嬉しい宿である。

■角の坊

神戸市北区有馬町878

☎078-904-0771

http://www.kadonobou.com





「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える  
有馬温泉のお宿

自然浴、食浴、もてなし浴…  
「二湯十浴」のもてなしのお宿

銀水荘別館  
兆楽

當谷泰子さん

「二湯十浴」のお宿として知られる銀水荘別館兆楽。広い敷地内に有馬には珍しいラドン含有のラジウム源泉が。二湯はもちろん金泉・銀泉。十浴とは様々なタイプの浴槽を楽しめることを想像しがちであるが。「森林浴、食浴、睡眠浴、自然浴、もてなし浴：いろいろな『浴』をお愉しみてください」。温かく包み込むような笑顔でお迎える當谷泰子さんは、学生時代から女将業を営んできた。今春、敷地内に宿籠り「紫貴」をオープンさせた。和風建築の粋を集約した癒しの空間は、十浴以上の満足度を叶えてくれるだろう。

■銀水荘別館兆楽

神戸市北区有馬町1654-1

☎078-604-0996

<http://www.choraku.com>





「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える  
有馬温泉のお宿

花で結ばれた、  
心を通わせるおもてなしを

# 御幸荘 花結び

片山和子さん  
片山直美さん



ふれあう心と心が、花で結ばれますように。御幸荘花結びの館名には、片山和子さんのそんな素直な気持ちが表現されている。館内の至る所に飾られた花々や押し絵の数々。ほとんどが和子さんの手によるもので、館全体を華やかに彩る。大広間にある源氏物語の押し絵は、和子さんが20代のときの作品だとか。お部屋の名前にも花の名が。「からたちの間」の花言葉は長寿だから還暦や古希の祝いに。現在は、次女の直美さんと旅館を切り盛り。「二人で一人前です」と優しい笑みがこぼれる。

■御幸荘花結び

神戸市北区有馬町1740112

☎078-9040166

<http://www.hanamusubi.co.jp/>

